

柳川郷土研究会
会誌「水郷」付録

すいきょう

瓦版

発行所 柳川郷土研究会
柳川市本城町 113-1
発行人 武松 豊
編集責任者 金子俊彦



土竜(もぐら)の囁き

大川市の清力美術館で欄間展が開催されて大川の職人が製作した欄間の数々を見る事ができた。改めて職人達の美意識の素晴らしさに触れ強く感動した。当会からは壇・武松家のそれが展示された。壇氏の家はみやま市瀬高町吉井にあるが、近來、数少なくなった旧家の侘まいを残している家の一つである。茅ぶきの屋根・式台のある玄関・庭石の数々・年を経た巨木・そして敷地の広さ等々である。あれに匹敵するのは城下町柳川でも戸島邸ぐらいであろう。

戸島邸は市が資金を出して修復したと聞くが壇家では当主の努力で維持されている。

これは大変な負担であろうと思う。行政は気付かずにいるので民間の有識者に呼びかけ世論としなければいけない。同市にも筆者と同じ考えの人も多々居られる筈だ。

本会が発火点になり市・県などに文化財の指定と維持費の交付をお願いしたいと思う。協力を頼む。

(土竜)